

九州地方新広域道路交通計画(案)概要

令和3年7月7日

国土交通省 九州地方整備局

広域道路ネットワーク計画

■広域道路ネットワークの階層と要件

- 現状の交通課題の解消を図る観点と新たな国土形成の観点の両論を見据え、平常時・災害時および物流・人流の視点を踏まえた具体的なネットワーク計画を策定。
- 該当するネットワークについては、求められる機能、役割により以下の階層に分類。

<高規格道路>

- 人流・物流の円滑化や活性化によって我が国の経済活動を支えるとともに、激甚化、頻発化、広域化する災害からの迅速な復旧・復興を図るため、主要な都市や重要な空港・港湾を連絡するなど、高速自動車国道を含め、これと一体となって機能する、もしくはそれらを補完して機能する広域的な道路ネットワークを構成し、地域の実情や将来像（概ね20～30年後）に照らした事業の重要性・緊急性や、地域の活性化や大都市圏の機能向上等の施策との関連性が高く、十分な効果が期待できる道路で、求められるサービス速度が概ね60km/h以上の道路。
- 全線にわたって、交通量が多い主要道路との交差点の立体化や沿道の土地利用状況等を踏まえた沿道アクセスコントロール等を図ることにより、求められるサービス速度の確保等を図る。
- 原則として以下の何れかに該当する道路。

①ブロック都市圏※1間を連絡する道路

※1 中枢中核都市や連携中枢都市圏、定住自立圏 等

②ブロック都市圏内の拠点連絡※2や中心都市※3を環状に連絡する道路

※2 都市中心部から高規格幹線道路ICへのアクセスを含む

※3 三大都市圏や中枢中核都市、連携中枢都市

③上記道路と重要な空港・港湾※4を連絡する道路

※4 拠点空港、その他ジェット化空港、国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾

<一般広域道路>

- 広域道路のうち、高規格道路以外の道路で、求められるサービス速度が概ね40km/h以上の道路。現道の特に課題の大きい区間において、部分的に改良等を行い、求められるサービス速度の確保等を図る。
- 原則として以下の何れかに該当する道路。

①広域交通の拠点となる都市※1を効率的かつ効果的に連絡する道路

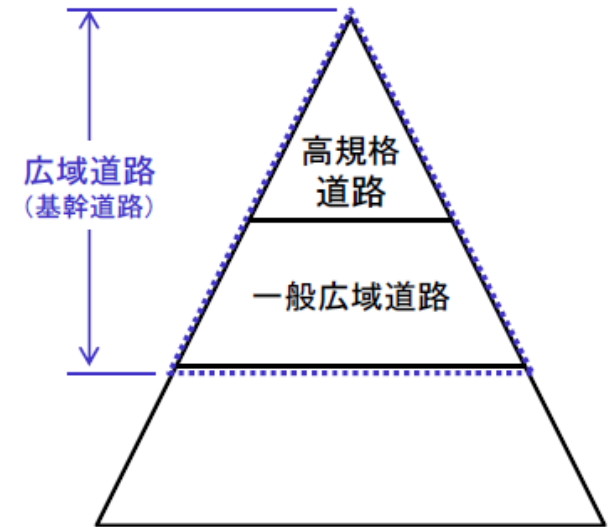
※1 中枢中核都市、連携中枢都市、定住自立圏等における中心市

上記圏域内のその他周辺都市（2次生活圏中心都市相当、昼夜間人口比率1以上）

ただし、半島振興法に基づく半島振興対策実施地域における都市への到達が著しく困難な場合を考慮する

②高規格道路や上記道路と重要な空港・港湾等※2を連絡する道路

※2 拠点空港、その他ジェット化空港、国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾、三大都市圏や中枢中核都市の代表駅、コンテナ取扱駅



▲広域道路ネットワークの階層

<構想路線>

- 高規格道路としての役割が期待されるものの、起終点が決まっていない等、個別路線の調査に着手している段階にない道路。

広域道路ネットワーク計画

■広域道路ネットワーク強化の方向性・拠点の設定

- 計画の策定にあたっては、下記の基本方針に沿ってネットワークの効率的な強化を図るものとする。
- 本計画で選定する基幹道路（高規格道路および一般広域道路）を検討する上で、連絡すべき拠点を設定。
- 基幹道路と拠点（物流拠点、防災拠点、交流・観光拠点等）を連絡するラストマイルの機能強化を図ることで、広域道路ネットワークの機能をより発揮。

▼基本方針（広域道路ネットワーク強化の方向性）

- 基本方針 1 都市間道路ネットワークの構築
- 基本方針 2 都市圏道路ネットワークの構築
- 基本方針 3 災害に強い道路ネットワークの構築
- 基本方針 4 半島とのアクセス強化
- 基本方針 5 広域観光周遊ネットワークの形成
- 基本方針 6 交通拠点へのアクセス強化
- 基本方針 7 トラックの大型化に対応した道路機能の強化

▼基幹道路により連絡する拠点

都市※1	北九州市、福岡市、久留米市、大牟田市、直方市、飯塚市、田川市、八女市、朝倉市、佐賀市、唐津市、鳥栖市、伊万里市、武雄市、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、熊本市、八代市、人吉市、玉名市、山鹿市、菊池市、天草市、大分市、中津市、日田市、佐伯市、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、鹿児島市、鹿屋市、出水市、指宿市、薩摩川内市、霧島市、南さつま市、南九州市
空港※2	福岡空港、北九州空港、佐賀空港、長崎空港、熊本空港、大分空港、宮崎空港、鹿児島空港
港湾※3	北九州港、博多港、苅田港、三池港、唐津港、伊万里港、長崎港、佐世保港、熊本港、八代港、三角港、別府港、大分港、佐伯港、中津港、津久見港、宮崎港、細島港、油津港、鹿児島港、志布志港、川内港
鉄道駅※4	小倉駅、博多駅、久留米駅、佐賀駅、長崎駅、佐世保駅、熊本駅、大分駅、宮崎駅、鹿児島中央駅、北九州貨物ターミナル駅、福岡貨物ターミナル駅、大牟田オフレールステーション、鳥栖貨物ターミナル駅、鍋島駅、有田オフレールステーション、八代駅、西大分駅、延岡駅、南延岡駅、佐土原オフレールステーション、都城オフレールステーション、川内駅、鹿児島貨物ターミナル駅

※1：中枢中核都市、連携中枢都市、定住自立圏等における中心市等

※3：国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾等

※2：拠点空港、その他ジェット化空港等

※4：中枢中核都市の代表駅、コンテナ取扱駅等

▼基幹道路からラストマイルにより連絡する拠点の例

物流拠点※1	トラックターミナル、卸売市場、工業団地、特定流通業務施設、流通業務地区、保税地域
防災拠点※2	自衛隊基地・駐屯地、広域防災拠点（備蓄基地）、災害医療拠点（総合病院等）、広域的な防災機能強化を図る「道の駅」、災害時民間物資集積拠点、製油所、油槽所
交流・観光拠点	地域で重要な観光地、新幹線駅及びその他主要な駅、主要離島航路フェリーターミナル

※1：現在指定されている重要物流道路で考慮した主な拠点を記載

※2：現在指定されている代替・補完路で考慮した主な拠点を記載（「道の駅」は除く）

広域道路ネットワーク計画

九州ブロック 広域道路ネットワーク計画図(案)

■ 広域道路ネットワーク路線

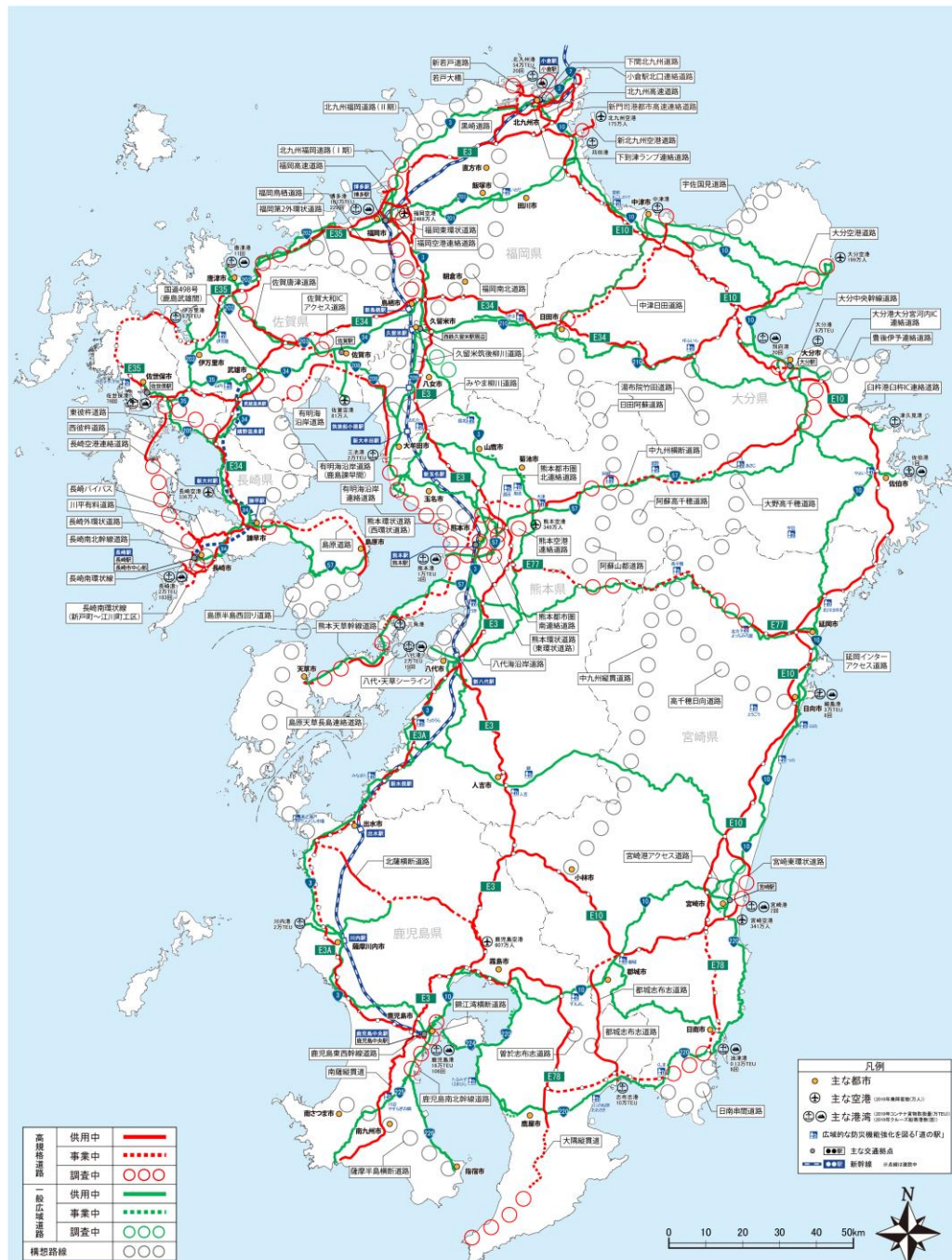
- 基本方針を踏まえ、拠点を連絡する「高規格道路」「一般広域道路」からなる広域道路ネットワークを選定した。

▼ 高規格道路

- ・九州縦貫自動車道鹿児島線
 - ・九州縦貫自動車道宮崎線
 - ・九州横断自動車道長崎大分線
 - ・九州横断自動車道延岡線
 - ・東九州自動車道
 - ・関門自動車道
 - ・西九州自動車道
 - ・南九州西回り自動車道
 - ・有明海沿岸道路
 - ・佐賀唐津道路
 - ・島原道路
 - ・熊本天草幹線道路
 - ・中九州横断道路
 - ・宮崎東環状道路
 - ・都城志布志道路
- 等

▼ 一般広域道路

- ・国道2号
 - ・国道3号
 - ・国道10号
 - ・国道34号
 - ・国道35号
 - ・国道57号
 - ・国道58号
 - ・国道201号
 - ・国道202号
 - ・国道203号
 - ・国道205号
 - ・国道208号
 - ・国道209号
 - ・国道210号
 - ・国道218号
 - ・国道220号
 - ・国道224号
 - ・国道225号
 - ・国道226号
- 等



ICT交通マネジメント計画

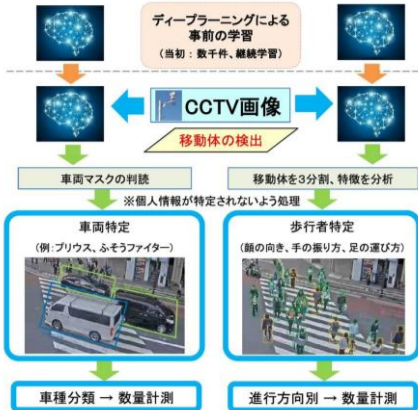
ICT等を活用した交通マネジメントの強化

- 災害時の運行支援情報「通れるマップ」の提供
- AIによるカメラ画像解析を活用した交通量観測
- 観光地渋滞対策
- 訪日外国人観光客レンタカーピンポイント事故対策
- 各種モード間のシームレスな乗継ぎ等を支援するMaaSの取組
- スマートシティの実現に向けた取組

熊本県南部周辺通れるマップ 2020年7月6日(月)14:00時点



車両計測の流れ 歩行者計測の流れ



出典:第41回国土幹線道路部会 資料4 IT技術を活用した道路行政 (2020年8月21日)

令和2年7月豪雨時の通れるマップ

インターネット予約連携【一例】

ルート検索結果から、「ハイウェイバスドットコム」を利用できます。
(各サービス内での利用登録・決済が必要です)



出典:九州運輸局記者発表資料
私の楽しいに一直線!
宮崎・日南エリアの移動が変わります! ~宮崎県で「MaaS」の実証実験が行われます~ (2020年10月19日)

宮崎市・日南市でのMaaS実証実験での提供サービス例

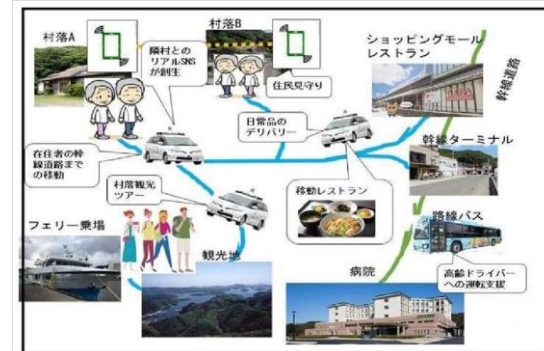
自動運転の普及・促進に向けた取組

- 中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス
- 内閣府未来技術社会実装事業等と連携した自動運転サービス導入支援事業



出典:第3回中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転ビジネスモデル検討会
資料1 H29年度の実験の概要について (2018年5月14日)

みやま市での自動運転実証実験の概要



出典:未来技術社会実装事業(令和2年度選定)事業概要(内閣府地方創生推進事務局)

対馬市での自動運転サービス提供イメージ

推進体制

- 飛躍的に進化する情報通信技術を新たな道路政策に取り入れていくため、渋滞対策協議会や地域道路経済戦略研究会等を活用し、大学等と連携協力した検討体制を構築